



— 中国人が海外で医療サービス

近年、中国では大都市を中心に海外で医療サービスを受ける富裕層が増えており、人気の渡航先は日本や米国、英国、韓国となっております。中国の海外での医療サービスを仲介する企業のデータによると、こうした医療観光に中国人が投じる額は平均15万米ドル(約1800万円)と統計されています。そのうち、約80%ががんの患者です。女性の中には美容整形を海外で受ける人も多いということです。

その背景には

1. 中国と先進国間の医療技術の大きな格差

中国腫瘍登記センターが発表した2013年時点のデータによると、中国では毎年350万人ががんを発症しており、がんで死亡する人は270万人に達しています。がん治癒率は先進国よりはるかに低いです。

2. 中国の医療環境

人口が多い中国では、先進的な施設がほとんど北京・上海などの大都会に集中しており、地方から来ている患者も多く、また、中国の医療システムは外科や内科など各科が独立しており、患者が各科を移動しなければならないとし、数時間も待ったうえで問診時間は10分間にも満たないのが一般的だと指摘されました。

このような医療環境に比べ、海外の病院にはホールにピアノがあったり、個室病室に生花が置かれ、窓の外には美しい景色が広がるといった患者に対する環境は海外では珍しいことではありませんが、こうした環境は中国国内では夢のまた夢と言えます。

日本への医療サービスブーム

欧米より、隣国の日本に行き、健康診断や最先端の医療サービスを受ける中国人がここ数年激増しています。精度の高いがん検診が有名な日本へ健康診断を目的として訪れる中国人観光客の数は、2020年までに、年間延べ31万人を上回る見通しです。

いままで、中国人が医療観光を希望した場合、旅行代理店に連絡を取り、その旅行代理店が海外の病院とコンタクトを取るという流れが多かったのですが、顧客の希望に応じて、仲介機関は通しておらず、個人の現地ツアーガイドという現行モデルも現れています。

医療観光が普及するにつれて、通訳養成機関の規範化が必要となるだけでなく、仲介機関が正規のものか否かについても、吟味することが求められます。

△出所:人民日報

【お問合せ】

JEC

皆逸希国際貿易(上海)有限公司
株式会社ジェック経営コンサルタント上海事務所

ADD: 中国上海市長寧区遵義南路88号2305室

TEL: +86-21-61157069 FAX: +86-21-61157389

中国HP: www.jeckc.com/shanghai/